

高岡市男女平等推進プランの目標とする成果指標の推進状況

男女平等推進プラン(第2次)後期事業計画は、令和4年度から令和8年度までを計画期間とし、4つの基本目標、11の重点課題で構成しており、85の事業を掲げている。

また、令和8年度までに達成を目指す成果指標を16設定し、進捗管理を行っている。

基本目標		成果指標	基準値 (R2)	目標数値 (R8)	令和7年度	
					実績	達成状況
I	あらゆる分野において、男女が平等に参画できる環境づくり	審議会等の女性委員比率	28.6%	33.0%	31.9%	↑
		女性委員がいない審議会等の数	3委員会	0委員会	5委員会	↓
II	仕事と生活の調和が保たれ、男女がともに活躍できる環境づくり	ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定数	35事業所(累計)	30事業所(累計)	22事業所(累計)	—
		市男性職員の育児休業等取得率	31.6%	40.0%以上	74.3%	達成
		市の職員1人当たりの年次有給休暇取得日数	10.5日	10.0日以上	12.1日	達成
		病児・病後児対応型実施施設数	5施設	6施設	6施設	達成
		子育て支援センターの施設数	3施設	3施設	3施設	達成
		放課後児童育成クラブの受入れ児童数	1,290人	1,630人	1,481人	↑
		関係機関との連携による男女の雇用機会の均等などに関するセミナー等の開催	4回(累計)	10回(累計)	8回(累計)	—
		粹メンプロジェクトの実施事業数	6事業所(累計)	10事業所(累計)	16事業所(累計)	達成
III	個人が尊重され、能力が発揮できる環境づくり	子宮がん検診の受診率	27.6%	50.0%	30.7%	↑
		乳がん検診の受診率	28.6%	50.0%	35.5%	↑
IV	計画の総合的な推進	男女平等E X P O高岡参加者数	60人	200人	119人	↑
		男女平等・共同参画に関する講座等の参加者数	195人	455人	575人	達成
		男女平等推進センターの利用者数	4,397人	12,000人	7,156人	↑
		男女平等推進センター講座における男性参加率	36.0%	40.0%	26.6%	↓

【達成状況凡例】

達成：令和7年度において目標数値をクリアしているもの	6項目
↑：令和7年度数値が令和2年度基準数値を上回るもの	6項目
→：令和7年度数値と令和2年度基準数値が同じもの	0項目
↓：令和7年度数値が令和2年度基準数値を下回るもの	2項目
—：計画期間（5年間）の累計数により目標達成するもの	2項目

基本目標別進捗状況

○ 基本目標Ⅰ あらゆる分野において、男女が平等に参画できる環境づくり

重点課題 1 政策・方針決定過程への男女平等・共同参画の推進

No.	成果指標	基準値 (R2)	目標 数値 (R8)	R4	R5	R6	R7	R8	達成 状況
1	審議会等の女性委員比率	28.6%	33.0%	31.6%	30.9%	30.8%	31.9%	—	↑
				95.7%	93.6%	93.3%	96.7%		
2	女性委員がいない審議会等の数	3 委員会	0 委員会	2 委員会	1 委員会	4 委員会	5 委員会	—	↓
				0%	0%	0%	0%		

成果指標の状況（各年度 上段：実績値 下段：目標数値に対する達成率）

〈評価及び今後の対応〉

- ・指標No.1 「審議会等の女性委員比率」、指標No.2 「女性委員がいない審議会等の数」

各審議会等の女性登用への意識の向上が見られており、女性委員比率は前年度から 1.0%増加した。また、女性委員がいない審議会等は、令和 6 年度は 4 委員会だったが、委員交代に伴い 5 委員会に増加した。

各関係団体からの推薦により委員を選任している審議会等の中では、推薦される代表者や役員に男性が多い場合もあり、女性登用の増加に結び付きにくい審議会もある。引き続き、関係団体に委員の推薦を依頼する際は、役職にこだわらず所属する女性メンバーを対象を広げ女性委員の推薦を働きかけるよう担当課に依頼する。

○ 基本目標Ⅱ 仕事と生活の調和が保たれ、男女がともに活躍できる環境づくり

重点課題４ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

No.	指 標	基準値 (R2)	目標 数値 (R8)	R4	R5	R6	R7	R8	達成 状況
3	ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定数	35 事業所 (H29-R2 累計)	30 事業所 (累計) ※年換算 6 事業所	4 事業所 13.3%	8 事業所 (累計) 26.6%	18 事業所 (累計) 60.0%	22 事業所 (累計) 73.3%	—	—
4	市男性職員の育児休業等取得率	31.6%	40.0%以上	33.3% 83.2%	52.3% 130.7%	66.7% 160.0%	74.3% 185.8%	—	達成
5	市の職員 1 人当たりの年次有給休暇取得日数	10.5 日	10.0 日以上	11.3 日 113.0%	11.0 日 110.0%	11.3 日 113.0%	12.1 日 121.0%	—	達成
6	病児・病後児対応型実施施設数	5 施設	6 施設	5 施設 83.3%	5 施設 83.3%	6 施設 100.0%	6 施設 100.0%	—	達成
7	子育て支援センターの施設数	3 施設	3 施設	3 施設 100.0%	3 施設 100.0%	3 施設 100.0%	3 施設 100.0%	—	達成
8	放課後児童育成クラブの受入れ児童数	1,290 人	1,630 人	1,316 人 80.7%	1,341 人 82.2%	1,332 人 81.7%	1,481 人 90.9%	—	↑

成果指標の状況（各年度 上段：実績値 下段：目標数値に対する達成率）

〈評価及び今後の対応〉

・指標No.3 「ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定数」

令和6年度の新規認定数が10事業所に対し、令和7年度の新規認定数は4事業所であり、若干、伸び悩んでいる状況。ホームページやSNS、高岡商工会議所の会報掲載協力等をいただきながら、当該制度の周知を行い、新規認定数の増加を図る。また、市内事業所に推進の働きかけを行うとともに、ワーク・ライフ・バランス推進事業所の取り組みについて市民等に広く紹介していく。

・指標No.4 「市男性職員の育児休業等取得率」

男性職員の育児休業等の制度及び取得促進について周知に取り組み、令和7年度の取得率は74.3%と目標を達成している。

今後も支援等について情報提供を行うとともに、育児休業取得に対する職場の理解や協力を促し、男性職員が育児休業等を取得しやすい雰囲気が醸成されるよう取り組みを進める。

・指標No.5 「市の職員 1 人当たりの年次有給休暇取得日数」

年次有給休暇取得推進月間や年末年始及びゴールデンウィークに合わせた連続休暇の取得の呼びかけなどに取り組んでおり目標を達成している。

引き続き各職場で計画的かつ着実な休暇取得に対する職場の協力的な雰囲気づくりを図っていく。また、職員が安心して年次休暇の取得ができるよう、管理監督者が中心となり職場内における応援体制の確立を図る。

・指標No.6 「病児・病後児対応型実施施設数」

目標を達成している。今後も、働く保護者のニーズに対応した保育サービスの充実に取り組んでいく。

・指標No.7 「子育て支援センターの施設数」

目標を達成している。引き続き、子育て世代のニーズに応じた子育て教室、講座等の開催や、ねねットたかおか等を活用した情報発信に努め、子育て支援センターについて周知を図っていく。

・指標No.8 「放課後児童育成クラブの受入れ児童数」

令和7年4月に民設クラブが新たに1クラブ開設され、受入児童数が増加した。需要が増加している校区を中心に、余裕教室等を活用したクラブ室や民間クラブの整備に努めている。

また、放課後児童育成クラブで働く支援員不足が課題であるため、市民と市政や公式 SNS を活用した情報発信、各種団体への募集案内等のほか、シルバー人材センターとの連携による人材確保のための取組み、会計事務等の周辺業務を専任で行う職員を配置した際の費用の支援を行っている。

重点課題5 働く場における女性の活躍支援

No.	指 標	基準値 (R2)	目標 数値 (R8)	R4	R5	R6	R7	R8	達成 状況
9	関係機関との連携による男女の雇用機会の均等などに関するセミナー等の開催	4回 (H29-R2 累計)	10回 (累計) ※年換算 2事業	1回 10.0%	4回 (累計) 40.0%	6回 (累計) 60.0%	8回 (累計) 80.0%	—	—

成果指標の状況（各年度 上段：実績値 下段：目標数値に対する達成率）

〈評価及び今後の対応〉

働く女性等に向けて、リスクリングや女性特有の健康課題等のテーマに合わせ講師を招きセミナーを開催。また、富山県女性就業支援センターと連携して女性人材バンク登録事業所を招いての事業所・求人説明会を開催し、女性登用、女性活躍に関する意識啓発に努めた。

引き続きセミナー開催等により啓発活動を行い、女性活躍の推進に努める。

重点課題6 家庭・地域活動における男女の相互協力の推進

No.	指 標	基準値 (R2)	目標 数値 (R8)	R4	R5	R6	R7	R8	達成 状況
10	粋メンプロ プロジェクトの 実施事業数	6 事業 (H29-R2 累計)	10 事業 (累計) ※年換算 2 事業	4 事業 40.0%	8 事業 (累計) 80.0%	12 事業 (累計) 120.0%	16 事業 (累計) 160.0%	—	達成

成果指標の状況（各年度 上段：実績値 下段：目標数値に対する達成率）

〈評価及び今後の対応〉

粋メンプロジェクトの実施事業数は、令和7年度までに16事業（累計）を行い目標を達成している。令和7年度は、男性の家事・育児参加への意識付け講座や料理、収納・掃除等の実践講座を開催した。

引き続き家庭での男性の家事・育児・介護等の実践につながるよう、家事・育児等に関する知識・技術の向上や共同参画に関する講座を開催し、男女の相互協力の意識醸成に取り組む。

○ 基本目標Ⅲ 個人が尊重され、能力が発揮できる環境づくり

重点課題10 男女の生涯を通じた健康支援

No.	指 標	基準値 (R2)	目標 数値 (R8)	R4	R5	R6	R7	R8	達成 状況
11	子宮がん検 診の受診率	27.6%	50.0%	30.2% 60.4%	30.3% 60.6%	30.5% 61.0%	30.7% 61.4%	—	↑
12	乳がん検診 の受診率	28.6%	50.0%	33.1% 66.2%	33.7% 67.4%	34.8% 69.6%	35.5% 71.0%	—	↑

成果指標の状況（各年度 上段：実績値 下段：目標数値に対する達成率）

〈評価及び今後の対応〉

受診率向上のため、がん検診受診券の個別通知及び子宮がん・乳がん検診に節目年齢・重点年齢を設定し、費用の負担軽減などに取り組んでいる。

集団検診時の託児のサービスや土・日曜日の午前半日検診を行い、働く世代や子育て世代が受診しやすい体制を整えている。

また、保育園や学校祭など若い世代が集まる機会を捉え、関係団体と協働で受診の声かけやブレスト・アウェアネス（女性自身が日頃から乳房の状態について意識する生活習慣）の普及啓発に努めており、今後も取り組みを継続していく。

○ 基本目標Ⅳ 計画の総合的な推進

重点課題 11 プランの総合的推進

No.	指 標	基準値 (R2)	目標 数値 (R8)	R4	R5	R6	R7	R8	達成 状況
13	男女平等 E X P O 高岡 参加者数	60 人	200 人	99 人 49.5%	116 人 58.0%	159 人 79.5%	119 人 59.5%	—	↑
14	男女平等・共 同参画に関 する講座等 の参加者数	195 人	455 人	575 人 126.3%	713 人 156.7%	723 人 158.9%	575 人 126.4%	—	達成
15	男女平等推 進センター の利用者数	4,397 人	12,000 人	4,376 人 36.4%	4,481 人 37.3%	4,892 人 40.8%	7,156 人 59.6%	—	↑
16	男女平等推 進センター 講座におけ る男性参加 率	36.0%	40.0%	30.7% 76.8%	33.8% 84.5%	26.7% 66.8%	26.6% 66.5%	—	↓

成果指標の状況（各年度 上段：実績値 下段：目標数値に対する達成率）

〈評価及び今後の対応〉

・指標No.13「男女平等 E X P O 高岡参加者数」

令和 7 年度は、前年度に実施した参加者アンケートで関心の高かったワーク・ライフ・バランスをテーマとして講演会を実施したものの、参加者数は伸び悩んだ。一方で、講演会参加者に対するアンケート結果では、参加者の満足度について高い結果が出ており、一定の効果はあったものと考えている。

令和 8 年度の事業については、今後、センターネットワーク会議での審議においてテーマの方向性を定めていくこととしているが、テーマに沿ったターゲット層を定め、適切な方法により周知を図り、参加者の増加を目指していく。

・指標No.14「男女平等・共同参画に関する講座等の参加者数」

令和 7 年度は、30 講座を開催し 575 名の参加があり、目標値を達成している。

引き続き、社会の動向に注視しながら、講座等を企画運営し、男女平等・共同参画の推進に努める。

- ・指標No.15「男女平等推進センターの利用者数」

センターサロンの利用を促す館内案内掲示等を行い、学生等の若者への男女平等・共同参画推進の啓発も兼ねたセンター利用の拡大を図ったところ、利用者数の増加に繋がった。

今後もセンターを周知し利用を促すとともに、関係機関、センター活動登録団体等の協力を得ながら事業を実施し、また、講座やイベント等について、センター情報誌、市広報紙、ホームページやSNSで周知を行い、センターの利用者数の増加を図る。

- ・指標No.16「男女平等推進センター講座における男性参加率」

男性参加率については前年度とほぼ変わらない状況であり、目標達成は難しい状況。講座やイベントについて、センター情報誌、市広報紙、ホームページ等で周知を行うほか、公共施設だけでなく広く民間施設等にもチラシの配布や掲示を依頼するなど、男女を問わず幅広い市民の参加に取り組む中に、男性も参加しやすい内容の講座等の開催に努め、男性の参加率を高めていく。